

Shinjuku OPERA vol.21st

Umberto Giordano

Andrea Chénier

第21回新宿区民オペラ

U. ジョルダノー作曲

【アンドレア・シェニエ】全四幕・原語上演字幕付

指揮 草川正憲

演出 園江 治

12日出演

東小野 修
藤井直美
星野 聡
六角実華
藤原 啓
奥村正憲
藤巻希美彦
飯島由利江
飯沼友規
黒田正雄
石井一也
鷺尾裕樹
金子亮平

13日出演

上本調久
遠藤紗千
今井俊輔
栗田真帆
香月 健
中原和人
井出壮志朗
日向里香
水野裕子
新後閑大介
荒木俊雅
五島泰次郎
上野日奈之
田中拓風

新宿文化センター・大ホール

2015年9月12日(土)開場17:00 開演17:30 13日(日)開場13:30 開演14:00 ¥5,000

■チケットぴあ:0570-02-9999 Pコード259-677 ■新宿文化センターチケット売り場:03-3350-1141 ■新宿区民オペラ事務局:03-3952-7894



指揮 草川 正憲 演出 園江 治

〈物語〉

第一幕

フランス革命前後、パリ郊外のコアンー伯爵邸では舞踏会の準備に追われている。庭師の老父と共に従僕として仕えるジュワールは、貴族社会を憎み革命を待ち望んでいる。

その後、舞踏会に招かれた詩人アンドレアシェニエは全権マッダレーナの望みで「愛は心の魂、生命なので、...」と詩を吟詠するが、その内容に権力者、貴族への風刺が含まれていたため彼らの反感を買う。マッダレーナはシェニエに惹かれ、密かに彼女に好意を寄せるジュワールは血に貴族たちを惹き騒動を起こす。

第二幕

革命の五年後、伯爵夫人の死と引替えに屋敷を追われたマッダレーナは侍女のベルシに匿われているが、そのベルシは密偵に目を付けられている。革命急進派ロベスピエール一派となったジュワールはマッダレーナを捜して一方いまだ詩人として成功したシェニエも友人のルーシェと共に反革命分子として追われているが、密偵の監視を潜りマッダレーナと再会を果たす。そこへ現れたジュワールと決闘になるが、相手がシェニエと分かるため、舞踏会での詩に感動が蘇り二人を逃がす。

第三幕

革命裁判所。シェニエを逮捕したジュワールは告発書を書きながらも、マッダレーナへの嫉妬心だと自分を庇っている。そこへ彼女が助命嘆願に現れる。当初は彼女への情欲に描かれていたが、シェニエへの深い愛情に感じ入ったジュワールは告発書の撤回を決心する。しかし混乱した人民裁判はシェニエに死刑を宣告する。

第四幕

監獄の中庭。シェニエが辞世の詩を書き付けているとマッダレーナが現れる。彼女は半番を買収し、死刑が決まっている若い母親の身代わりとなる決心をした。名画が呼び上げられ、二人は固く抱き合い、刑場にむかう馬車に乗り込むのだった。

■合唱 新宿オペラ合唱団

■演奏 新宿オペラ管弦楽団

■音楽スタッフ

副指揮:平野桂子/福田夏絵

ピアニスト:岩崎能子/松井理恵/竹之内純子

河野真由美/谷塚裕美/岩淵 静

ヴォイストレーナー:堀内共子

■舞台スタッフ

美術:淡路公美子/照明:(有)日高舞台照明

小道具:(株)高津映画装飾

大道具:(有)ニケステージワークス

衣装:アトリエ五十嵐

ヘアメイク:(有)アトリエプラナフォンテ

字幕:鈴木弘之/舞台監督:八木清市

宣伝美術:バク/制作協力:悠久堂企画室

制作:園江詩子

アンドレア
シェニエ

ジュワール



ルーシェ



フレウワレ



密偵



フーキエ



シミアット



マッダレーナ



ベルシ



マチュー

伯爵夫人
と女子ロマン

修道院長



デマ



シミアット

アントニア
シミアット

ジュワール



ルーシェ



フレウワレ

老女子
ロマン

修道院長



デマ



マッダレーナ



ベルシ



マチュー



伯爵夫人



密偵



フーキエ



シミアット



新宿文化センター
東京都新宿区新宿6-14-1
Tel.03-3350-1141
J1新宿駅東口より徒歩14分
東新宿駅A1出口より徒歩5分
新宿三丁目駅E1出口より徒歩5分

